

2014年北辰会総会、会長挨拶

本日はお忙しい中、茨城県や鹿児島県からも北辰会総会にご出席頂きまして誠に有難うございます。恩師の先生方にもご臨席を賜り厚く御礼申し上げます。

母校北野高校には平素より幹事会や総会の準備等で大変お世話になっております。この場をお借りして御礼申し上げます。

ご出席の皆様方には北辰会の為に何時もご支援を賜りまして、有難く心より感謝申し上げます。

母校定時制課程は2009年に閉課程となりましたが、私達の青春の故郷である北辰会は燈台の灯りの様に道しるべとなって、私達の心の故郷を支えて頂いております。

北辰会としましては、今年20号となりました北辰会報の発行や、昨年の北辰DVD「燦然と輝く希望の星」の発行と北辰会ホームページの立上げ、そして2010年には3冊目の文集となりました閉課程記念文集「はるけき流れ」には1期生から67期生までの文が寄せられております。

ホームページには懐かしい仲間達の写真や近況等がご覧頂けますので是非アクセスしてみてください。又、投稿もお待ち致しております。

事務局や幹事会を中心に元気に活動を続けております。又、クラス会はもとより同期会や各種同好会の活動報告も届いておりまして、青春を共に過ごした仲間達と強い絆で結ばれています。

私達を取り巻く社会は厳しさを増しつつあります。高齢化問題や消費増税等がありますが、私達には色々な困難を乗り越えてきた経験があります。北辰魂があります。

少しさかのぼりますが2000年発行の文集「ゆうべの星」で当時の学校長、秋田先生が刊行に寄せて頂いた一文に『現代の豊かな日本は、貧しい時代以上に何か得体の知れない時代になっている』とありますが、豊かさや格差がもたらす弊害に活路を見いだせていないのが現代ではないかと思われませんが、私達は青春の大切な時期を北野高校で過ごした事が、その後の人生の生きる糧となり北辰魂を培ってきました。

数々の出版物にも逆境をバネに真摯に生きてきた会員の皆様の生きざまが綴られております。

北辰会は常に皆様の青春の故郷でございます。素晴らしい仲間達の元気の源であります様に願っております。最後になりましたが会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り致しまして、ご挨拶とさせていただきます。本日はお忙しい中を有難うございました。